

# 令和8年度（2026年度）新規研究課題

課題番号：R08-05

課題名：山口県オリジナル品種「南津海シードレス<sup>なつみ</sup>」の寒害回避による  
安定出荷技術の確立

研究期間：令和8年～令和10年（2026年～2028年）

研究担当：農林業技術部 柑きつ振興センター

## 1 研究の背景

山口県オリジナル品種である「南津海シードレス」は、露地栽培で収穫期が4月以降のため、近年、寒波により甚大な被害を受ける年があり、普及が進まない要因となっている。

施設栽培は寒害回避策として有効であるが、近年、資材の高騰から、施設の導入は進んでいない。

そのため、「南津海シードレス」を普及するには、寒害回避のために早期収穫した果実を、出荷できる品質にまで向上させる技術が必要である。

## 2 目的

「南津海シードレス」の早期収穫による寒害回避後の安定出荷技術を確立する。

## 3 研究内容

「南津海シードレス」の早期収穫果の減酸処理、長期貯蔵技術を確立する。

「南津海シードレス」の早期収穫果の活用方法を検討する。

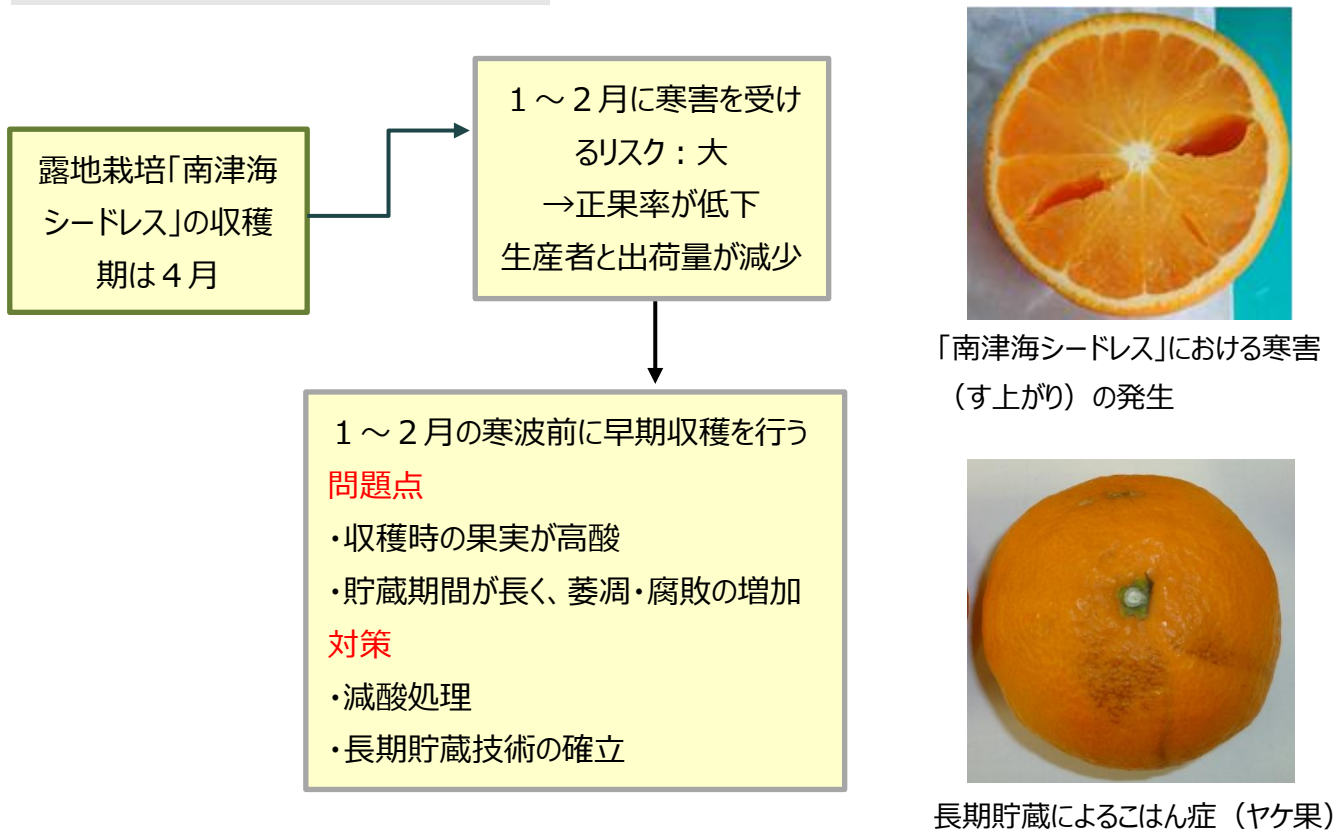
## 4 研究のポイント

露地栽培における「南津海シードレス」において、寒害被害を回避した早期収穫果における減酸技術と長期貯蔵技術を確立することで、生産者の収益確保と出荷量の維持を図る。

# 山口県オリジナル品種「<sup>なつみ</sup>南津海シードレス」の寒害回避・早期収穫技術の確立

農林業技術部 柑きつ振興センター

## ①「南津海シードレス」の現状



## ②減酸処理、長期貯蔵技術の確立



### 長期貯蔵技術

- ・恒温恒湿庫での低温高湿貯蔵
- ・貯蔵シートによる乾燥防止
- ・鮮度保持フィルムを用いた低酸素高二酸化炭素での貯蔵

恒温恒湿庫での減酸処理（35℃、湿度 95%）

長期貯蔵（低温、高湿）

早期収穫によって寒害を回避することで「南津海シードレス」の出荷量を維持し、生産者の収益を確保